

日立統合ストレージソリューション Storeplaza
バックアップテープ装置

HITACHI
Inspire the Next



失ってわかった、では遅すぎます。——

SAN(Storage Area Network)環境に対応し、柔軟な接続性で、高速なバックアップを実現。

インターネット利用の普及・拡大などにより、サーバ上に存在するデータやプログラムといった“情報”は、経営資産としての重要度がきわめて高くなっています。この大切な“情報”をハードウェアやソフトウェアの障害、地震や停電などの災害、操作ミスなどによる消失の危険から守り、業務停止による損失、データ復旧コストの発生などを防ぐには、日頃の“バックアップ”が不可欠です。日立では、SAN環境に対応するとともにテープ1巻に100Gバイト(非圧縮データ)の大量データを高速に書き込みできるLTO Ultrium1™やDLT™(大型テープライブラリのみ)を利用したバックアップテープ装置をラインアップ。UNIXシステム、Windows NT®システム、Windows® 2000あるいはそれらの混在環境など、さまざまなシステム環境・データ規模に応じた有効なバックアップを実現します。

LTO:Linear Tape Open
DLT:Digital Linear Tape

中・小型テープライブラリ L2/20、L4/40、L8/80

装置あたり2Tバイト/4Tバイト/8Tバイト(非圧縮データ)を書き込み可能。

高速データ転送が可能なファイバチャネルを装備。

Webブラウザを使用した運用管理が可能。

電源、ドライブ、制御部がモジュール化されているため、保守が容易。

ラック搭載でも利用可能。



L2/20



L4/40



L8/80

主な仕様		L2/20		L4/40		L8/80			
項目				LTO Ultrium1					
テープドライブ									
搭載ドライブ数		1	2	2	4	2	4	6	8
テープスロット数		20		40		80			
最大記憶容量	非圧縮時	2.0TB		4.0TB		8.0TB			
	圧縮時 ^{*1}	4.0TB		8.0TB		16.0TB			
テープ交換時間 ^{*2}		平均10.5秒		平均8秒		平均7.6秒			
テープロード時間				25秒					
テープアンロード時間				13秒					
平均データアクセス時間				71秒					
スループット	非圧縮時	2ドライブ搭載時: 108GB/hr		4ドライブ搭載時: 216GB/hr		8ドライブ搭載時: 432GB/hr			
	圧縮時 ^{*1}	2ドライブ搭載時: 216GB/hr		4ドライブ搭載時: 432GB/hr		8ドライブ搭載時: 864GB/hr			
接続インタフェース				ファイバチャネル					
電源電圧				AC100 / 200V					
電源コンセント数		1		2		2			
外形寸法(幅×奥行き×高さ)		483×711×178mm / 4EIA		483×756×445mm / 10EIA		483×737×800mm / 18EIA			
装置質量 ^{*3}		21.8kg		44.5kg		63.6kg			

*1: データ圧縮率を2:1とした場合。データ圧縮率はデータ内容により変化します。

*2: スロットからドライブへのテープ移動時間です。

*3: ライブラリ装置のみの質量です。ドライブを含んだ総質量は、ライブラリ装置に5kg/ドライブ×ドライブ数を加算してください。

ネットワーク環境の備え、万全ですか？

ローエンドからハイエンドまで幅広い製品をラインアップ

- ・ドライブ1台 / テープ20巻収容のモデルから、最大20ドライブ / テープ678巻(67.8Tバイト)のライブラリ装置まで幅広いラインアップを用意。
- ・HITACHI 9000VサーバをはじめWindows NT® / Windows® 2000、Solaris™搭載サーバへの接続も可能。

高速・大容量のデータバックアップを実現

- ・データ転送速度を2.5倍向上(従来機比)したLTO Ultrium1ドライブを採用。将来的には、より上位のLTO Ultrium2などの次世代テープ規格にも対応予定。
- ・1時間当たり最大約1~2Tバイトの高速データバックアップが可能。
- ・SAN対応のファイバチャネルインタフェースに接続可能。

優れた運用性

- ・テープには使用開始時期、書き込み回数などの履歴管理に利用するバーコードラベルを貼り込んで提供。
- ・バックアップ支援ソフトウェアとして実績豊富な、「JP1/VERITAS NetBackup™」、「JP1/OmniBack」、「BrightStor ARCserve® 2000」などが利用可能。

充実のサポートサービス

- ・企画/設計から維持/運用まで広範囲をサポートするサービスを提供し、安全かつ柔軟性に富んだバックアップシステムを提供。

大型テープライブラリ L10/180、L20/700

装置あたり17.4 / 67.8Tバイト(非圧縮データ)の大容量書き込みが可能。(LTO Ultrium1搭載時)

高速データ転送が可能なファイバチャネルにも対応可能。

高速のロボット機構を採用し、複数ドライブ(最大20ドライブ)

へのテープ装填をすばやく実行。

Webブラウザを使用した

運用管理が可能。

LTO Ultrium1、DLT8000

など複数種のドライブを搭載

可能。



L10/180

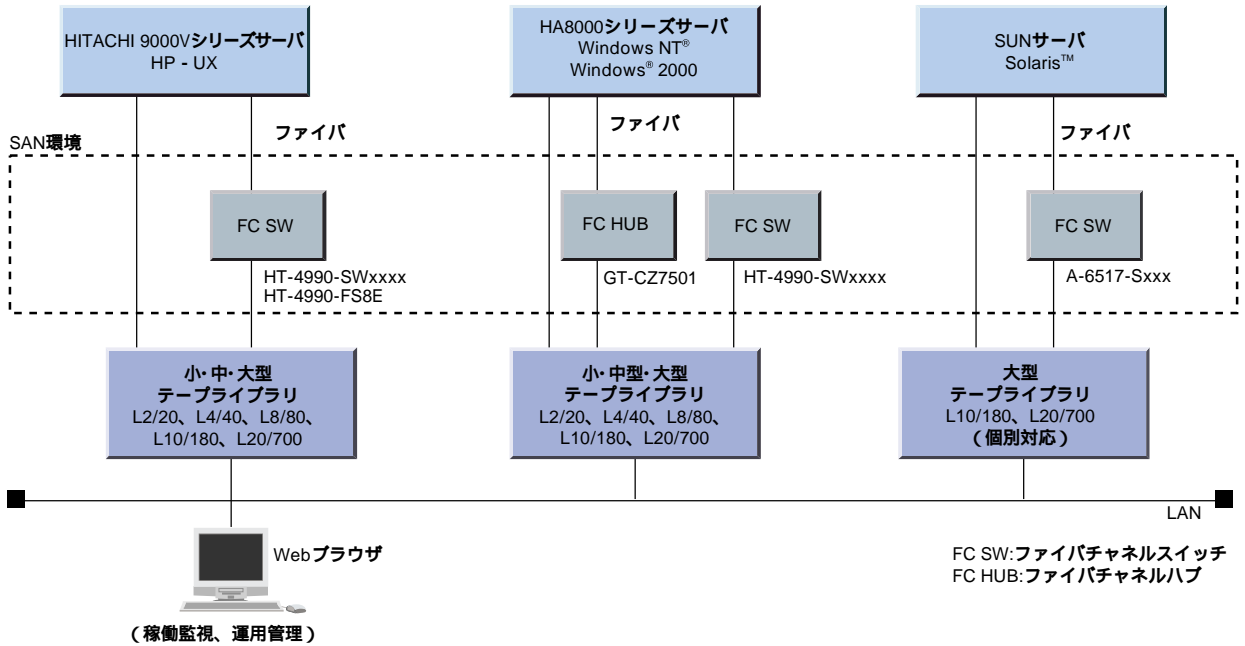


L20/700

主な仕様		L10/180	L20/700
項目		L10/180	L20/700
テープドライブ		LTO Ultrium1 / DLT8000	
搭載ドライブ数		最大10	最大20
テープスロット数* 1</td <td></td> <td>84 / 140 / 174</td> <td>216 / 384 / 678</td>		84 / 140 / 174	216 / 384 / 678
最大記憶容量	非圧縮時	17.4TB*2 / 6.96TB*3	67.8TB*2 / 27.1TB*3
	圧縮時*4	34.8TB*2 / 13.92TB*3	135.6TB*2 / 54.2TB*3
テープ交換時間*5		平均4秒	
テープロード時間		25秒*2 / 37秒*3	
テープアンロード時間		13秒*2 / 17秒*3	
平均データアクセス時間		71秒*2 / 60秒*3	
スループット	非圧縮時	540GB/hr*6 / 216GB/hr*7	1.08TB/hr*8 / 432GB/hr*9
	圧縮時*4	1.08TB/hr*6 / 432GB/hr*7	2.16TB/hr*8 / 864GB/hr*9
接続インタフェース		Ultra2 SCSI(LVD)またはファイバチャネル*2,*10 / FWD SCSI2またはファイバチャネル*3,*10	
電源電圧		AC100 / 200V	
電源コンセント数		2	2
外形寸法(幅×奥行き×高さ)		719×1,252×1,654mm	1,557×950×1,826mm
装置質量*11		274.4kg	345kg

*1:ドライブを11台以上搭載した場合、テープスロット数が60スロット減少します。*2:LTO Ultrium1の場合。*3:DLT8000の場合。*4:データ圧縮率を2:1とした場合。データ圧縮率はデータの内容により変化します。
*5:スロットからドライブへのテープ移動時間です。*6:LTO Ultrium1を10ドライブ搭載時の値。*7:DLT8000を10ドライブ搭載時の値。*8:LTO Ultrium1を20ドライブ搭載時の値。*9:DLT8000を20ドライブ搭載時の値。
*10:SCSIブリッジ経由の接続となります。*11:ライブラリ装置のみの質量です。ドライブを含んだ総質量は、ライブラリ装置に5kgドライブ×ドライブ数を加算してください。

SAN環境での接続形態



利用可能なバックアップソフトウェア

プラットフォーム	HITACHI 9000V HP-UX	HA8000 Windows NT® Windows® 2000	Sun Solaris™
バックアップソフトウェア	JP1/VERITAS NetBackup™ JP1/OmniBack HP OpenView OmniBack BrightStor Enterprise Backup	BrightStor ARCserve® 2000 JP1/VERITAS NetBackup™ JP1/VERITAS Backup Exec™ JP1/OmniBack BrightStor Enterprise Backup	JP1/VERITAS NetBackup™

各バックアップソフトウェアのサポート時期、ライセンス形態など詳細はお問い合わせください。

- ・ ARC serve2000は、米国Computer Associates International,Inc.の登録商標です。
- ・ DLT™、DLTtape™は、米国Quantum Corporationの商標です。
- ・ HP - UXは、米国Hewlett Packard Companyのソフトウェア名称です。
- ・ LTO、Ultriumは、Hewlett-Packard Company、IBM Corporation、Seagate Technology, Inc.の商標です。
- ・ Microsoft、Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Sun、Solarisは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の登録商標です。
- ・ UNIXは、X/Open Company Limitedが独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
- ・ VERITAS、VERITAS Backupは、米国VERITAS Software Corporationの米国およびその他の国における商標もしくは登録商標です。
- ・ Windows NT® Server4.0の正式名称は、Microsoft® Windows NT® Server Network Operating System Version4.0です。
- ・ その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

製品に関するお問い合わせ

HCAセンター ☎ 0120-2580-12
利用時間 9:00 ~ 17:00 [土・日・祝日を除く]

情報提供サービス

<http://www.hitachi.co.jp/tapelib/>



安全に関するご注意

ご使用前に、必ず製品添付のマニュアルなどの注意事項をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

株式会社 日立製作所

インターネットプラットフォーム事業部 〒140-0013 東京都品川区南大井六丁目26番3号(大森ベルポートD館)

北海道支社 (011) 261-3131 北陸支社 (076) 433-8511 中国支社 (082) 541-4111
東北支社 (022) 223-0121 四国支社 (087) 831-2111
関東支社 (03) 3212-1111 中部支社 (052) 243-3111 九州支社 (092) 852-1111
横浜支社 (045) 451-5000 関西支社 (06) 6616-1111

製品仕様は、改良のため変更することがあります。

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法並びに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

CD-931T 2003.1

Printed in Japan(H)